

保護者の皆様

札幌市立手稲中央小学校
校長 越野 宗 丈

令和8年度 全国学力・学習状況調査について

令和8年度の6年生を対象に実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果について、概要をお知らせいたします。6年生については、既に個人票を配付しておりますが、本校の課題と今後の取組についてもご理解いただければと思います。

【本校児童の結果概要及び改善の方向】

	領 域	概要	今回の調査における課題	改善の方向
国 語	①言葉の特徴や使い方に関する事項	▽	①話や文章の種類とその特徴について理解すること。	①様々な話や文章に触れ、それぞれの目的や構成、表現の特徴を比べながら理解する活動を取り入れる。
	②情報の扱い方に関する事項	▼	②情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。	②文章中の情報の関係を図や表に整理する活動を通して、情報を関連付けて捉え、表現する力を育てる。
	③話すこと・聞くこと	▽	③資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。	③資料から必要な情報を選び、自分の考えを明確に伝えるために、根拠や表現を工夫して書く活動を行う。
	④書くこと	▼	④筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考慮することや、引用して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	④書く前に構成を考える習慣を身に付け、引用した情報と自分の考えを関連付けて、筋道立てて書く活動を行う。
	⑤読むこと	▼	⑤目的に応じて、必要な情報を見つけること。 ⑤文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。	⑤読む目的を明確にし、見出しやキーワードに着目して、必要な情報を効率よく探す活動を繰り返す。 ⑤文章の内容や筆者の考えを整理した上で、根拠を明確にし、自分の考えをまとめる活動を充実させる。

◎全国平均より上回っている。(＋5%以上)

○全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。(＋5%未満)

▽全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。(－5%未満)

▼全国平均より下回っている。(－5%以上)

	領 域	概要	今回の調査における課題	改善の方向
算 数	① 数と計算	▽	①数を四捨五入して、概数で表すこと。 ①整数と小数の減法の計算をすること。	①日常生活の具体的な数値を用いて、四捨五入する位を意識させながら練習する。数直線などを活用し、概数の意味を理解できるようにする。 ①小数点の位置をそろえて計算することを徹底する。計算の仕組みを確認し、繰り返し練習することで正確な計算力を高める。
	② 図形	▽	②体積の意味や、体積の計算による求め方について理解すること。	②具体物や模型を用いて、体積の意味を実感できるようにする。 図を活用し、縦・横・高さの関係を確認しながら、体積の公式の意味を理解させる。
	③ 測定	○		
	④ 変化と関係	▼	④百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めること。 ④単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解すること。 ④基準量、比較量、割合の関係を正しく理解すること。	④数直線や図を活用して、基準量・比較量・割合の関係を整理し、具体的な場面と式を関連付けながら、数量の関係を捉えて立式する力を高める。 「1個当たり」「1㎡当たり」などの具体的な場面を設定する。図や言葉、式を関連付け、何を1とした量なのかを意識させながら、除法の意味を理解できるようにする。
	⑤データの活用	▽	⑤二次元の表から、条件に合う数読み取ること。	⑤表の縦・横の項目を確認し、条件に合う場所を順序立てて探す活動を取り入れる。必要な情報に印を付けるなど、表から正確に情報を読み取る力を高める。

◎全国平均より上回っている。(＋5%以上)

○全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。(＋5%未満)

▽全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。(－5%未満)

▼全国平均より下回っている。(－5%以上)

【問題形式】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
国語・算数共に、問題形式を問わず、無回答率が全国平均に比べて高い傾向にある。	➤分かったことや求め方などを順序立てて記述すること。	➤日常の学習の中で、自分の考えや分かったことなどを、自分以外の他者に説明するように書く活動を充実させる。
その中でも、記述式の問題形式と、その直後の関連する短答式の問題（単語で答えるような問題）でも無回答率が高い傾向がある。	➤分からない問題でも、あきらめずに、粘り強く取り組むこと。	➤粘り強く取り組めるよう、つまづきを一つずつ解消できるような学習を継続して行う。

【質問紙】

本校の概要 今回の調査における課題	改善の方向
◎英語学習への意欲・肯定感が非常に高く、外国語教育への関心と自信が育っている。	➤児童の「好き」「得意」を生かし、英語を使って伝え合う活動を充実させ、意欲と自信をさらに伸ばしていく。
◎人と違う意見を認め合い、困っている人を助けるなど、安心・安全な学級風土が形成されている。	➤互いのよさや違いを認め合い、安心して自分の考えを表現できる学級づくりを継続していく。
◎友達と協力して課題解決に取り組み、話し合いを通して自分の考えを深める姿勢が高い。	➤児童同士が考えを伝え合い、比較・検討する活動を各教科で充実させ、学びを深めていく。
▽国語・算数の調査で解答時間を十分と感じる児童が少なく、特に算数でその傾向が強い。	➤短時間で情報を読み取り、要点を整理・記述する活動を授業に取り入れ、処理する力を高めていく。
▽算数に対する苦手意識が見られ、理解や学習への自信に課題がある。	➤友達と解き方を説明し合うなど、協働的な学びを生かし、「分かった・できた」という実感につなげていく。
▽ICT の授業での活用頻度や家庭学習時間に課題があり、長時間の動画視聴等も見られる。	➤ICT を調べる・整理する・伝える道具として効果的に活用し、家庭学習の内容や時間についても啓発していく。

【総括】

本校では、教師と児童、そして児童同士の温かな人間関係や信頼関係が育まれており、安心して学び合える環境が整っています。こうした本校のよさを大切にしながら、今後は、算数の学習の工夫や、文章を読み取って考えを表現する力、学習を支えるデジタルツールの活用をさらに進めていきます。

一人一人の「分かった」「できた」「もっとやってみたい」という気持ちを大切にしながら、子どもたちの学ぶ力と学ぶ意欲をさらに伸ばしていけるよう、学校全体で取り組んでいきます。